型式名	SR-60FF1 SR-60FF2

保証書付

品名

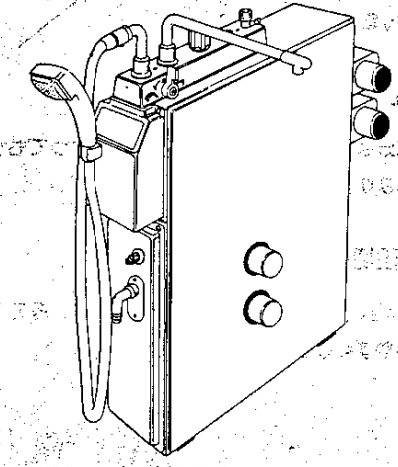
FF型給湯付風呂釜

31-856，857
31-858，859

取扱説明書

ご愛用の皆様へ

このたびはFF型給湯付風呂釜をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。つねに最良の状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」にしたがって、正しくお使いください。
保証書は本説明書の10ページにあります。よくお読みいただき大切に保存してください。



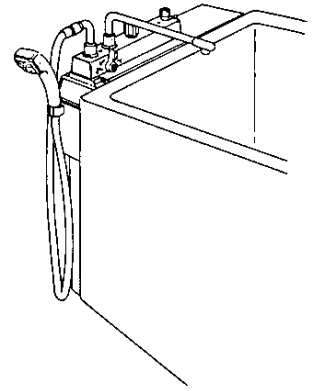
もくじ

FF型給湯付風呂釜の機能と特長……1
各部の名称とはたらき……2
操作のしかた……3
凍結による破損予防……5
特に注意していただきたいこと……6
日常の点検・手入れ……7
長期間使用しない場合……7
故障かな？と思ったら……8
アフターサービス……8
仕様……9
本社・支社一覧……裏表紙

大阪ガス

FF型給湯付風呂釜の機能と特長

◆釜幅11cmの薄型タイプ



●幅11cmの薄型タイプで小さな浴室にも設置ができます。

◆浴室内の空気を汚さないFFタイプ

●燃焼に必要な空気を屋外より取り入れ排気ガスを屋外へ排出するFF式ですから安心して使用できます。（AC100V電源が必要です。）

◆外装はステンレス

●外装の金属部分はステンレスを採用し、水がかかってもサビにくくなっています。

◆給湯能力は2段切り替え

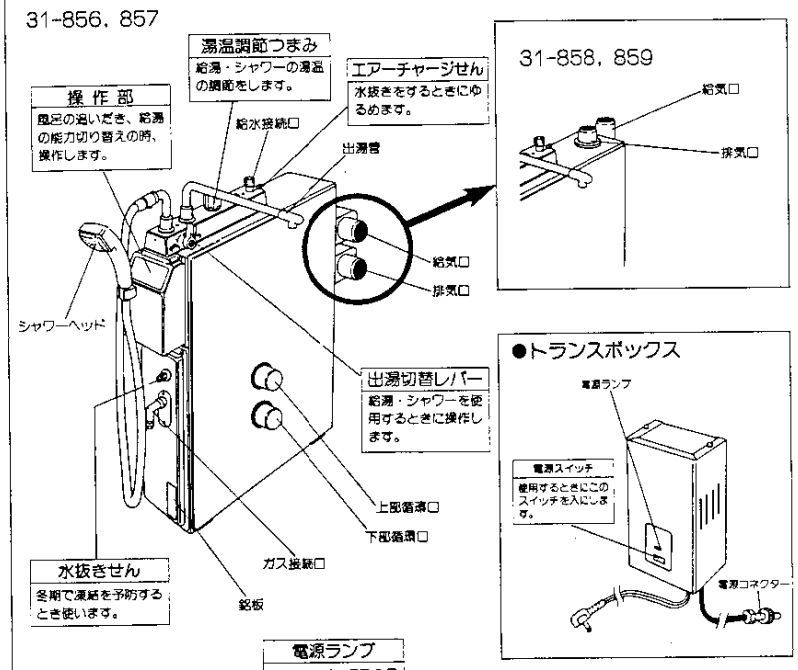
●給湯能力は6.4号、3.9号の2段切り替え式で、夏、冬でも適温のお湯が使いやすくなっています。

◆同時使用可能

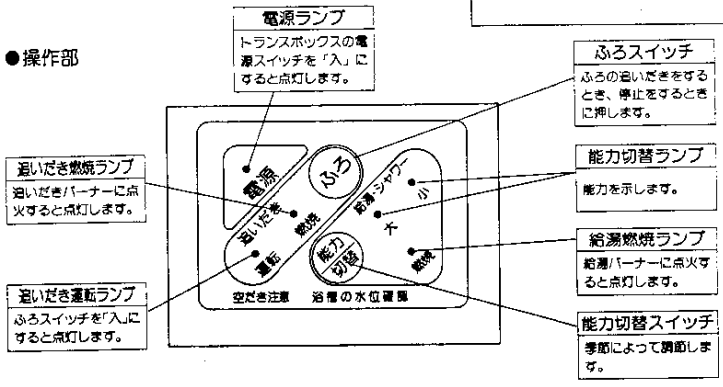
●給湯またはシャワー使用中でも風呂の追いだきができます。

各部の名称とはたらき

●機器本体

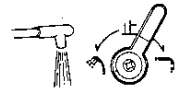
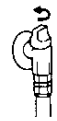
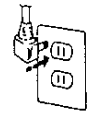


●操作部



操作のしかた

■はじめてお使いになる場合

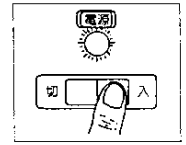
手順 1	手順 2	手順 3	手順 4
給水せんを全開にします。	出湯切替レバーを給湯マーク側にたおして、水の出ることを確認します。	ガスせんを全開にします。	電源プラグをコンセントに差し込みます。
			
浴室内	機器上部側面	浴室内	浴室外

■給湯操作

Ⅰ．運転

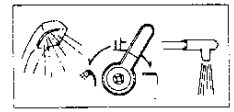
(1)トランスボックスの電源スイッチを「入」にします。

●トランスボックスの電源ランプ、機器本体操作部の電源ランプが点灯します。



(2)給湯使用の場合は出湯切替レバーを給湯マーク側に、シャワー使用の場合はシャワーマーク側にたおします。

●操作部の給湯燃焼ランプが点灯し、出湯管またはシャワーヘッドよりお湯が出ます。



Ⅱ．湯温調節

(1)適温になるよう湯温調節つまみを回します。

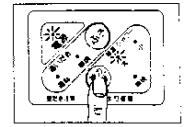
●湯温調節つまみは左に回すと湯量が多くなり、お湯がぬるくなります。右に回すと湯量が少なくなり、お湯があつくなります。

●適温が選べない場合は次の(2)の方法を組合せてお使いください。

(2)能力切替スイッチを季節により「大」または「小」に合わせます。能力切替スイッチは押すごとに「大」「小」と変ります。

●能力大のときは大ランプが、能力小のときは小ランプが点灯します。

●通常、能力切替は「大」に合わせ、夏期など水温の高いときは「小」に合わせます。



ご注意

●シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。

●湯温調節つまみは一番あつい位置（つまみを右いっぱいに回した状態）より1回転以内でご使用ください。ぬるい方に回しすぎると湯量が不安定になる場合があります。

操作のしかた……つづき

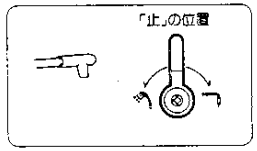
Ⅲ．停止

（1）出湯切替レバーを「止」の位置にします。

●給湯燃焼ランプが消灯し、出湯管またはシャワーヘッドのお湯が止まります。

（2）お出かけやおやすみの際など長時間使用しない場合は、トランスボックスの電源スイッチを「切」にしてください。

●トランスボックスの電源ランプ、機器本体操作部の電源ランプが消灯します。

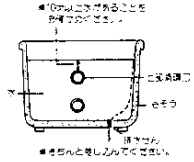


■ふろ操作

Ⅰ．追いだきの準備

（1）浴そうに水張りをします。

●浴そうの水（またはお湯）が上部循環口上端より10cm以上あることを確かめてください。



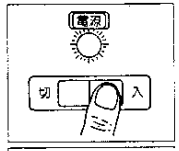
Ⅱ．追いだき開始

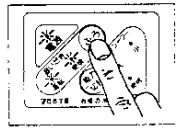
（1）トランスボックスの電源スイッチを「入」にします。

●トランスボックスの電源ランプ、機器本体操作部の電源ランプが点灯します。

（2）機器本体操作部のふろスイッチを押します。

●追いだき運転ランプ、追いだき燃焼ランプが点灯し、ふろの追いだきが開始します。





ご注意

●追いだき運転中、循環口をタオルなどでふさがないでください。

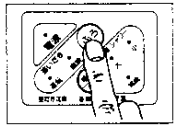
Ⅲ．追いだき停止

（1）機器本体操作部のふろスイッチを押します。

●追いだき運転ランプ、追いだき燃焼ランプが消灯し、ふろの追いだきが停止します。

（2）お出かけやおやすみの際など長時間使用しない場合は、トランスボックスの電源スイッチを「切」にしてください。

●トランスボックスの電源ランプ、機器本体操作部の電源ランプが消灯します。



操作のしかた……つづき

■停電時の処置

（1）停電時は出湯切替レバーを「止」にしてください。

（2）再通電してから給湯操作および風呂操作をおこなってください。

凍結による破損予防

●冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のために、機器内の水が凍結し機器が破損する場合がありますので、寒い夜などは次のような処置をしてください。

（1）水抜きによる方法

●次の順序でおこないます。

①電源スイッチを「切」にします。

②ガスせんをしめます。

③給水せんをしっかりしめます。

④出湯切替レバーを給湯マーク側へたおします。（出湯管からの水抜きをおこないます。）

⑤水抜きせんをゆるめます。

⑥湯温調節つまみを一番ぬるい位置（つまみを左にいっぱいに回した状態）にします。

⑦エアーチャージせんをゆるめます。

⑧出湯切替レバーをシャワーマーク側へたおしシャワーヘッドをハンガーからはずし、ヘッドの位置を低くして、シャワーホース内の水を抜きます。

●水抜き後再使用の時は、次の順序で操作をします。

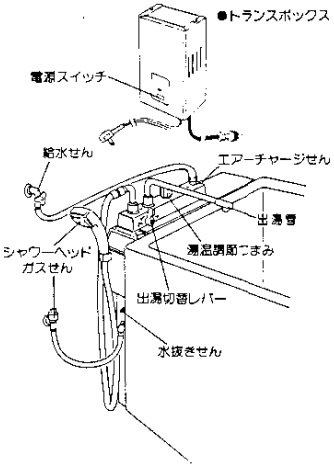
①エアーチャージせん・水抜きせんを元通りにします。

②給水せんを全開にし、給湯せんから水の出ることを確認してから、湯温調節つまみを一番あつい位置（つまみを右にいっぱいに回した状態）にします。

③出湯切替レバーを「止」マーク位置にもどします。

④電源スイッチを「入」にします。

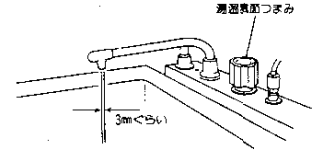
⑤ガスせんを全開にして給湯の操作をおこないます。



（2）給湯せんから水を流す方法

①ガスせんをしめ、電源スイッチを「切」にし、機器上部の出湯切替レバーを開け給湯マーク位置にし、給水元せんで出水量を調整（1分間に牛乳びん1本以上(200cc以上)ただし特に寒い日は多い目）にしてください。

②流量が不安定なことがありますので念のため、約30分後にもう一度流量を確認してください。



ご注意

●(1)の方法では給水配管やバルブ類の凍結防止はできません。凍結防止のため配管には必ず保温材を巻いてください。

●冷え込みの厳しい地域では「水道凍結防止器」を配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温をしてください。

●上記の手続きをしないで、機器が破損した場合の修理は有料です。

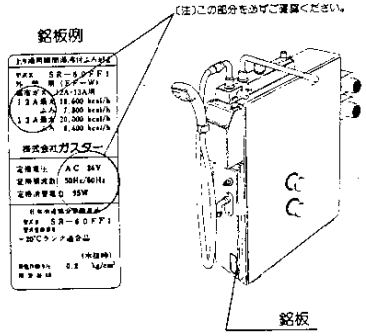
●万一凍結した場合は、水が出ることを確認してからご使用ください。凍結して水が出ない状態で使用されますと、危険な場合があります。

特に注意していただきたいこと

■使用ガス〔および使用電源〕について

●機器の正面下部に貼付してある銘板に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使用しないでください。

●銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。



■用途について

●給湯・シャワーおよびふろの追いだき以外の用途には使用しないでください。

■市販の補助用具使用について

●この機器の純正部品以外は使用しないでください。

■使用上のご注意

（1）ガス漏れ予防
長期間使用しない場合には必ず浴室のガスせんをしめてください。

（2）排気トップの場合のご注意
外壁設置排気トップ近くには洗たく物等、燃えやすいものを置かないでください。

●使用中および消火直後は、排気トップが高温になっていますので絶対に手をふれないでください。

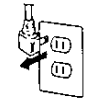
（3）ガス事故防止
ガス漏れに気付いた時は、すぐ使用をやめてガスせんをしめ、お求めの販売店か最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

ご注意
万一ガス漏れがあった時は、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器の「入・切」をしないでください。

特に注意していただきたいこと……つづき

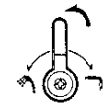
（4）異常時の処置
万一、異常と思われるとき（使用中に異常音のするようなとき）は、下図の処置をし、お求めの販売店か最寄りの大阪ガスへ連絡してください。

1．電源プラグをコンセントからはずす。



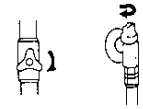
浴室外

2．出湯切替レバーを「止」の位置にする



機器上部側面

3．給水せん・ガスせんをしめる。



浴室内

（5）激しい雷により、一時的に過電流が流れ電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。

日常の点検・手入れ

■点検・手入れの際のご注意

●点検・手入れの前には、必ずガスせんをしめ、電源プラグを抜いて、機器が冷えてからおこなってください。

●機器は絶対に分解しないでください。

■点検

●機器および配管より水もれ・ガス漏れはありませんか。（ガス漏れは配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。

●機器の外観に異常は見られませんか。

■お手入れ

●機器の表面の汚れがひどい時は、中性洗剤をしめした布で軽くふき取ってください。シンナーおよびベンジンなどでふかないでください。（操作部には強い力を加えないでください。）

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は、必ずガスせん・給水せんをしめ、電源プラグを抜いてさらに機器の水抜きをおこなって下さい。水抜き方法については、5ページ「凍結による破損予防」をお読みください。

故障かな？と思ったら

■操作しても運転しなかったり、ご使用中に停止した時は、次のことを調べてください。

状　況	点　検　事　項
電源スイッチを押しても電源ランプが点灯しない。	①電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
出湯切替レバーを開けてもお湯が出ない。	①給水せんが全開になっていますか。 ②ガスせんが全開になっていますか。
あつい湯が出ない。	①湯沸能力切替が「小」になっていませんか。 ②湯温調節つまみをぬるいほうに回しすぎていませんか。
ぬるい湯が出ない。	①湯沸能力切替が「大」になっていませんか。 ②湯温調節つまみをあついほうに回しすぎていませんか。
追いだきがすぐ消火してしまう。	①浴そうの循環口上端以上に水が入っていますか。

■次のような現象は、故障ではありません。

状　況	理　由
点火または消火後に機器が「ポコン」と音がする。	熱膨張により金属が収縮されるためにおこりますが異常ではありません。

●以上のことをお調べになってもなお、異常のある時や、おわかりにならない時は、お求めの販売店または最寄りの大阪ガスにご連絡ください。
●不完全な修理は、事故のもとになります。

アフターサービス

■サービス（点検・修理）を依頼されるときは

●8ページの「故障かな？と思ったら」の項をもう一度ご確認ください。それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お求めの販売店か最寄りの大阪ガスへご相談ください。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
(1) 品　名 31-856,857 31-858,859　(4) 道　順
(2) 現　象（できるだけ詳しく）　(5) 訪問ご希望日
(3) 住所・氏名・電話番号

アフターサービス……つづき

■転居される場合

●ガスの種類および電源周波数が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガス種および電源周波数を確認の上最寄りの「大阪ガス」または、転居先のガス会社に相談し必ず調整したうえでご使用ください。この場合、費用は、保証期間内でも有料となります。
●また転居先で設置工事をなさる場合は、必ず専門の工事店に依頼してください。

■保証について

●必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり保証書の内容をよくお読みの後大切に保存してください。
●無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後7年間となっています。なお、補修用性能部品とはその性能を維持するための必要な部品です。

仕様

品　名		31-856, 857	31-858, 859
型式の呼び		SR-60FF1	SR-60FF2
種　類		屋内型	
重　量		19kg	
外形寸法		幅110×奥行き525×高さ650	
接続	ガス	15A(R1/2)強化ガスホース 接続口(ゴム管接続兼用型)	
	給水	15A(R1/2)	
	給湯	——	
電気関係	電源	AC100V 50/60Hz	
	消費電力	95W	
	点火方式	連続放電式	
最低作動水圧		0.2kg/㎠	
※給湯能力		大：6.4号 小：3.9号	
安全装置		流水感知装置、ファン回転感知装置、空だき過熱防止装置、器体過熱防止装置、過圧逃し弁装置	

※能力はガス種によって異なります。

使用ガス		品　名	給湯消費量	風呂消費量	同時消費量
都市ガス	13A	(N)-31-856,857 (N)-31-858,859	12.000kcal/h	8.400kcal/h	20.000kcal/h
	6C	(4)-31-856,857 (4)-31-858,859	12.000kcal/h	8.400kcal/h	20.000kcal/h

大阪ガス本社・支社所在地および電話番号

本社・ガスビル サービスセンター	大阪市東区平野町5－1	電話大阪	06 (202)2221 ㊊541
南支社	大阪市西成区玉出東2－9－41	電話大阪	06 (652)0001 ㊊557
北支社	大阪市淀川区十三本町3－6－35	電話大阪	06 (301)1251 ㊊532
堺支社	堺市住吉橋町2－2－19	電話堺	0722(38)1131 ㊊590
北摂支社	高槻市藤の里町39－6	電話高槻	0726(71)0361 ㊊569
阪神支社	西宮市和上町4－11	電話西宮	0798(26)3101 ㊊662
東部支社	東大阪市稲葉2－3－17	電話河内	0729(62)1131 ㊊578
京阪支社	枚方市西田宮町16－17	電話枚方	0720(41)1251 ㊊573
神戸支社	神戸市中央区相生町5－13－10	電話神戸	078(576)5231 ㊊650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話京都	075(231)8151 ㊊604
奈良支社	奈良市学園北2－4－1	電話奈良	0742(44)1111 ㊊631
和歌山支社	和歌山市本町1－1－1	電話和歌山	0734(31)2481 ㊊640
姫路支社	姫路市神屋町4－8	電話姫路	0792(85)2221 ㊊670
東播支社	加古川市加古川町粟津29－1	電話加古川	0794(21)1801 ㊊675
豊岡支社	豊岡市三坂町6－57	電話豊岡	07962(3)2221 ㊊668
湖南支社	草津市追分町字荒堀680－1	電話草津	0775(62)5311 ㊊525
彦根支社	彦根市大東町9－41	電話彦根	0749(22)3131 ㊊522
長浜(営)	長浜市南呉服町3－4	電話長浜	0749(62)7171 ㊊526

その他、当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

- ●ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- ●お使いになったあとは、器具コックだけではなく鉄管先の元コックも必ず閉めましょう。
- ●ゴム管は、良質の大阪ガス製 マーク入りのものを、そしてコックに付いている赤線のところまで深く差し込み、必ずゴム管止めで締め付けましょう。
- ●お使いにならない鉄管先の元コックにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社